高校 阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿倍野高等学校新聞部
編集兼発行人
江藤美保子

螢雪三年の功なりて
きょう巣立つ三六二名

梅の香におう今日阿倍野高等学校第七回卒業式が本校講堂にて行われる、この記念すべき日、ここに三歳の学業を終えた男子一八九名、女子一七三名計三六二名の人々が、新しい希望に胸をふくらませて、数々の想い出を残して母校を巣立ってゆく。ある人は大学へ、ある人は実社会へ。現実社会の波はきびしく、諸兄姉の前途には幾多の困難が待ちうけていることだろう。しかし現実社会の荒波をのりこえるだけの若さと情熱を諸兄姉はもっている。そして明日の日本建設を期待されているのだ。

餞別のことば

校長　赤間一夫

第七回卒業生諸君を送るにあたり一言「餞別のことば」を送ります。

諸君らは昭和二十七年、陽春のころ本校の門をくぐられました。ちょうど私も前校長志賀平先生のあとをうけ、学校長に就任し、諸君らとともに、つぶさに苦楽をともにして来たのであります。手塩にかけて来た諸君らと、お別れするのは、惜別の情の禁じえないものがあります。

平素わたくしの教育理想とし、真・善・美の諸価値の調和的に発達した心身ともにさわやかに、しかも敏智のひらめきのある生徒を育成する道に邁進してきました。すなわち教育活動のうち、知育・体育・徳育にかたよらない全人としての教育を標傍してまいりました。しかし世間の教育をみると、近視眼的な立場にあつて、知育偏重の教育が横行している実状であります。

わたくしはささやかではあるが、わたくしの教育理想を実現するその手はじめに教育的によく処理せられた環境教育に目を注ぎ、諸君らによりよき教育環境を与えるべく、個性伸張のための学習活動の場としての図書館の建設、明朗活溌なスポーツ精神の場としての大運動場の拡張、器械体操、室内競技の場としての体育館の建設。普通教室・食堂の増設などを行い、ようやく完備するにいたりました。

卒業生諸君らが、喜々として、これらの恵まれた環境にあり、活用しておられるすがたをみるにつけ、心より欣快に思つていましたさて諸君らにおくる「はなむけのことば」として

一つは、愛の精神に生きぬくこと

一つは、真理探求の道に邁進すること。

一つは、勇気を奮いおこし、実行すること。

愛の精神こそは、永遠の理想と平和を願う人類のすべての渇望するところであり、とりわけ、敗戦のどん底より、ふりたちつつある、現在の国民の一人一人の心のうちに、あたためなければならない精神であります。

第二の真理探求の道に邁進する探求心は、近代文明にふれ、近代人として、おおしく、たくましく生きぬくために、合理的な生活態度を確立する「道しるべ」となる叡知を与えられるものであります

第三の勇気と実行力は、ややもすれば、おちいりやすい近代人の欠点として、勇気と実行力に乏しいといわれますが、一、二の精神を真現する実行性と勇気の裏付けがあつてはじめて全いのであります。

卒業生諸君らは、大学に、実務に、家庭に、それぞれのすすむべき道は、色とりどりでありましょうが、折にふれて、この三カ条を想いおこしていただき「おおしく」「たくましく」開け行く人生を、生き抜いていただくことを念願し、最後の「はなむけのことば」といたします。

卒業生の皆様に贈る

PTA会長　桃谷順一

皆様が三年間学生の本分を尽くして目出度く御卒業の日を迎えられた事を心から御祝い申上げると共に、いたらぬ私ではございますが、PTAの会長と致しましてお別れの言葉を贈ります。

皆様のうちには、さらに上級学校へ進まれる方、直ちに社会に立たれる方、あるいは家庭にとどまられる方もおありのことでしょうがいずれの場合にも、私の次に申上げる体験を御参考にして頂けるならば、まことに幸せです。

私が、はじめて社会に出たときには、ただもう事業を成功させたい考えだけでした。そして一生懸命勉みましたが幸いに事業は順調に運び一応は成功したのです。ところが、不思議なことに、少しもうれしくなかつたのです。うれしくなければならぬはずなのに、何となく前途が暗くて楽しめなかつたのです。そこで私は、この方針に間違いがあるのではないかと深く反省しました。その結果、ようやく気づかせてもらつたことは私はただ一身一家というような部分にのみとらわれて全体を忘れていたのです。一言で申せば、神の御心を知らなかつたのです。全体のために奉仕することを忘れては、いかに部分が栄えても、けつして安心できないと知らせて頂いた私は、そこで次の三つの願いを持つて再出発致しました。

一、何事にも感謝したい。

一、すべての人を尊敬したい。

一、すべての人を愛したい。

この三つの願いをもつて神の御心に順うように心がけましたところだんだん前途が明るく喜びを感ずるようになりました。その後、事業には盛衰がありましたが、いかなる際にも生き甲斐と希望を失わなくなりました。そこでさらに次の三つの信念に到達したのでした

一、どんなに失敗しても必ず回復することができる。

一、いかなる難関も必ず通り抜けられる。

一、真実の願いは必ず叶う。

以上三つの信念を得るのに三十幾年かかつたのが、私のいつわらない体験です。

皆様は、今や愛する母校と恩師に別れて世の荒波にさおさされようとしていますが、これからの長い生涯には、楽しいことも苦しいことも起ります。しかし、苦しみ必ずしも苦難ではなく楽しみの糧となります。

人生は、神の経論でありまして私どもは神の経論に参加させてもらつているのですから、神の御心に順えば喜びが得られ、たとえ、どんな大切なものを失い苦しい境遇に陥つても、これを転じて前よりも一層楽しい境遇にして下さるほど、神の経論は広大で神の御心は慈悲深いのです。こう気づかせて頂く時私どもは失望を忘れ永遠の生命のみが得られず。どうか皆様は、私のこのつたない体験をいかされて、いかなる世の風波に処しても常に希望のある楽しい明るい人生をおおくり下さらんことを念願し、御祝いの言葉にかえる次第であります。

説論　卒業式に際して

力強い春の足音　われの前途には数多くの難関がよこたわつている。

終戦後の学制改革によつて、新しく六・三制男女共学になり、新制つ子、或いはアプレゲールといわれ、最近では、とかくティーンエイジャーとして問題の対象にされている。また遠く他国にまで眼を転ずれば、相変らず対立している二つの世界、そしてこの二大勢力下にかける原子兵器の濫造は、ついにその間に挟まれたわが国の罪もなき人の貴い命をも奪い去つた。それなのに国家の最高議決機関であるべき国会にがいてはみにくい乱闘が行われ、更には汚職政府が行われている。

このような中にあつて、われわれはただ一途に大学の或いは職場の狭き門を目指してひしめきあわねばならないのである。自治会活動やクラブ活動などは全く捨て去つて、試験の虫と化し、日夜机にかじりついている姿には、もはや高校生、否青年としての価値はない。しかに敢えてそれをせねばならぬのが現状である。だが、われわれは、その明るい面を希望をもつて見守つて行きたい。そしてその平和の実現のためには懸命の努力を払わねばならぬ。希望のある学校を卒業したということは社会に処して自分の進路を切り開く基礎力を得たというに過ぎない。今までに収得したその力で、眼前に現われるであろう幾多の困難を踏破せねばならない。

諸君は阿倍野高校の生徒であつた明るい希望をもつて雄々しく巣立たれんことを望む。諸君は阿倍野高校の卒業生である。

最後に卒業生諸兄姉の栄えある御卒業を祝すると共に、御健康と幸多からんことを念じて。

大学合格者追報

帝塚山短大（被）滝川裕子（食）
貝野桂子（文芸）松田貞代　大手前短大（被）滝川裕子　武庫川女子大（教）佐々木章子　同志社（法）阿知波良雄

就職決定者
五十七名

前号にも発表したが、昭和二十九年度の就職状態は昨年よりも好調で男子は殆んど百％に達している現在までのところ決定者総数は男子六名、女子五一名である。以下二月十六日現在の就職決定者は次の通り。

【帝産オートKK】中家光子、【高島屋】上田福次郎、西田偏子、吉岡初枝、徳田宏、【小泉株式会社】片山道子、柏原政子、小林柳子、押谷京子、【新田物産】吉井邦子、【大一KK】木下寿恵子【日建KK】伊藤愛子、【日本製糖KK】新井佳子、【吉比産業】清水節子、【鳥井商店】杉谷光代、【岡本薬品KK】福井千枝子、【巽商店】渡辺孝、【マーキーデパート】渡辺欽二雄、【新大阪通信社】松村幸代

・横浜市立・横浜国立大学二、広島・神戸女子・法政・金沢・神奈川・天理・東京学芸・信州・静岡薬科・東京薬科・東京歯科・日本赤十字女子短期・北海道・一橋・成蹊・京都女子・姫路工業・名古屋・東京教育・学習院・京都府立・大阪女子学園短期・東京農工・キリスト教短期・浪速工業短期・東京農業・奈良学芸・商船・国立電機通信・福岡女子・千葉・西京女子短期・東京都立・東京外国語・大学・大阪赤十字高等看護学院・無線通信学校・大阪高等貿易講習所一

本年度大学志願者
トップは浪大の一〇八名

各大学の願書受付けもほぼ締切つたようであるが、本校卒業生（旧卒業生を含む）の各大学志願者は浪速大学の一〇八名を筆頭に関西学院大学、大阪市立大学、大阪学芸大学等がそれについでいる。昨年と比較して浪速大学志願者が非常に上回つていることが目をひく。

以下一六日現在の出願状況。

浪速大学一〇八関西学院大学九〇、大阪市立大学八七、大阪学芸大学七六、大阪大学七五、同志社大学第一次三九第二次二六関西大学六〇、和歌山大学五一二八、神戸商科大学二四、早稲田・立命館大学二三、大阪薬科大学一六、神戸外国語大学一四京都・西京大学一二、大阪女子大学一一、近畿大学一〇、神戸薬科・甲南大学八、滋賀・大阪経済大学七、中央・大谷女子短期・京都市立美術大学六、帝塚山短期大学四、大阪歯科・東京芸術・和歌山県立医科・慶応・京都府立医科・浪速短期・神戸女子薬科大学三、東京・名城・武庫川学院・大手前女子短期・関西学院短期・富山・岐阜薬科

議會記者席

返上できぬ眠むれる議会
でもよく動いた執行部

議会の任務も大詰になり来学年の選挙管理委員会結成もこれで終つたわけであるが最後に山上先生より昨今から問題になりかけている徴収金について、新学期から食堂もできたことだし施設拡充費を二百円から百円にして、自治会費五十円を百円に値上げしてはいよいよ返上できぬ眠むれる議会でもよく動いた執行部といつてただ静かなる議会の汚名を返上できないことは残念である。また来学期の議員、また生徒諸君に期待しよう。

◇二月四日の議会、まずやつと国際交通クラブありクラブが職員室の承認を経てクラブとして発足した。諸君の希望をきいていくらにでもするからとの言葉に早速討議にうつる。

百円、八十円と意見が出たが採決の結果八十円と決定、しかしそれは会則にはないが重大問題けたままで、一応八十円は議会

(A)

聖火」発行さる

本校自治会文化綜合雑誌「聖火」第六号は、着々その編集がすすめられ、二十三日完成、例年のごとく、きょう卒業式に発行される。

きよう表彰される人々

三年間の思い出も、新たな感激をこめて、今日卒業式が行われるここに晴れて表彰される人々は次のとおりである。

なお自治会、クラブ功労賞受賞者は、前号既報のとおり正式決定

卒業証書授与総代　元橋之高
三カ年皆勤賞　八田昌美
三カ年精勤賞　〃　池田元継
一カ年皆勤賞　〃　堀川正子
府教育委員会賞　山崎秀夫
府体育功労賞　金沢勝成
〃　西田昌子
自治会役員総代　大藤幹夫
自治会クラブ功労賞総代　福井千枝子
文化クラブ　田川哲生
運動クラブ　岡悦子
家庭クラブ功労賞総代　山部果世子

答辞　加藤艶子
送辞　西浦精一

記念品贈呈代表　林徳太郎
保護者代表謝辞　桃谷晃平